

## 議会報告会(後期)を開催します

丹波篠山市議会では、議会活動の内容を報告するとともに、市民の皆様からの意見をお聞きし、市政に反映していくことを目的に議会報告会を開催しています。多くの市民に参加してもらいたいという意思のもと、「テーマ型」で行います。皆様の参加をお待ちしております。

開催内容 第1部 6月及び9月定例会報告動画・質疑応答

第2部 「各テーマ」についての意見交換(ワークショップ)

出席者 1班 ◎原田豊彦、安井博幸、本多紀元、前田えり子、野々村康、向井千尋  
2班 ◎稲山 悟、岡 圭子、堀毛宏章、桐村裕一、小島政行、降矢杏奈  
3班 ◎荒木礼子、隅田雅春、金崎美和、渡辺拓道、大内正博、上田英樹

開催日	会場	テーマ	担当
11月5日(水) 19:00～20:30	四季の森生涯学習センター 東館1階 大会議室	地域の未来を担う人 育て守るためには…	1班
11月7日(金) 19:00～20:30	ハートピアセンター 多目的ホール	丹波篠山の農業の未来像 ～5年後の農業はどうなる?(今取り組むべき課題は)～	3班
11月10日(月) 19:00～20:30	城東公民館 2階 第1研修室	自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来 ～持続可能な活動に向けて～	2班

## まらなみ

前号のクイズには、多くの回答と市議会だよりへの感想をお寄せいただき特に紙面改革については高い評価をいただきました。改善へのご提言も含め皆様のご意見は大きな励みになります。ありがとうございました。(堀毛)

議員になって1年経ち、市議会だよりの編集も2年目を迎えました。編集を通して、議会のいろいろな情報に目を通すので新人議員の私にとっては、とても意義のある取り組みになっています。今年も紙面改革を頑張ります!(本多)

電気で走るトクトクに乗ってみませんか!快晴の日に試乗しましたが、とても気持ちよく、爽やかな風を感じることができました。いつもと違う丹波篠山巡りも楽しいですよ。丹波篠山国際博の期間中、営業されています。(金崎)

毎日暑い。猛暑のもとでの作業が避けられない職場には、熱中症対策が義務付けられた。特別警戒アラートが出た場合には、自治体にも対応が求められている。今まで大丈夫だったからは通用しない。自分でもしっかり対策を。(前田)

這えば立て 立てば歩めの親心。4泊5日の自然学校を終え、帰宅した娘の背中が一段と大きく見えた。仲間たちと自然の中で得たたくまじさと優しさが、これからの日々を照らす光になると信じて。(降矢)

バーベキューがしたくなる夏がきました。ワクワク農村創生補助金を活用して地域で交流を図りませんか?未来を変える新たな出会いと発見がきっとここから始まる!焼けるのは肉だけじゃない、地域の絆も熱くなる!(大内)

次回の会議は9月に開催します。

【第126回 長月会議】

9月 2日(火) 本会議(第1日)  
議案提案 他

9月17日(水) 本会議(第2日)  
一般質問 他

9月18日(木) 本会議(第3日)  
一般質問 他

9月25日(木) 本会議(第4日)  
委員長報告 他

(常任委員会・分科会)  
○予算決算委員会分科会  
補正予算審査  
9月 3日(水) 民生福祉  
9月 4日(木) 産業建設  
9月 5日(金) 総務文教  
9月16日(火) 全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越してください。なお、市のホームページ(ユーチューブ)でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※市議会だよりに対するご意見や感想は、下記までお寄せください。  
TEL (079) 552-6855  
FAX (079) 552-7104  
gikai\_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第115号  
令和7年7月18日発行

編集・発行  
丹波篠山市議会広報特別委員会  
堀毛宏章・本多紀元・金崎美和  
前田えり子・降矢杏奈・大内正博  
〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41番地  
TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索

# 丹波篠山市議会だより No. 115

2025.7



作品紹介 ささようなの幼児、児童、生徒59名がそれぞれに役割分担をして制作しました。みんなで出し合ったアイデアを児童生徒会が中心となって決定した今年度のスローガンは「SYG 集まれ59スライムラワー みんなで協力してがんばろう」です。幼小中各部は背景の草原の色を刷毛(はけ)やローラーでのびのびと表現し、篠山、養護、学校の頭文字をとった中央の文字SYGは中学部がちぎり絵の技法でダイナミックに、高等部は毛筆で書いた文字をガーランド風に繋いでおしゃれに配置しました。全幼児生で取り組んだ折り染めの花は一人一人が好きな色を選んで美しく染め上げ、笑顔を描いてスライムラワーを表現しています。(実際の作品サイズ:縦1m80cm×横3m60cm)

一般質問12人が登壇

P4～9

# 水無月会議で可決した条例改正

## ■丹波篠山市地域コミュニティ活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

旧福住小学校は平成28年3月末に閉校し、その後、福住複合教育施設として活用してきた。令和2年4月からは地域コミュニティ活性化施設として設置し、NPO法人SHUKUBAが指定管理者として、多紀支所、旧理科室及び旧理科準備室を除く範囲の施設管理を行っている。

旧理科室及び旧理科準備室については、平成28年6月から兵庫県立篠山東雲高等学校に行政財産使用の許可をし、研究施設として使用されてきたが、同校から使用を終了する申し出があり、令和7年1月末で使用終了となった。今後は、施設を効果的に有効活用するため、コミュニティ活性化施設に位置付けることから所要の改正をする。



**問** 施設を活用していくということで全く問題はない。料金について地元と相談されていると思うが、収入は指定管理者に入り、その収入はある程度自由に使えるのか。

**答** 使用料収入は指定管理者に入り、施設管理に使っていただく。

## ■丹波篠山市福祉医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例

国制度の改正に合わせて、低所得判定基準に準用している基準額を引き上げる改正。

## ■丹波篠山市市営住宅条例の一部を改正する条例

耐用年数が経過し、老朽化が激しい住宅の用途廃止による除却に伴い管理戸数を変更する改正。

## ■丹波篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国制度の改正に合わせて、法律の基準に準じている選挙管理委員会の各報酬額を引き上げる改正。

# 水無月会議で可決した補正予算



水無月会議では、議案第48号一般会計補正予算(第2号)、議案第50号一般会計補正予算(第3号)を可決しました。

## 6月3日補正予算の概要

議案	議題	目的	補正額
48号	令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第2号)	全県展開される救急安全センターに係る経費や国庫支出金を活用して実施する地域課題解決プロジェクトの経費などを追加	4,427万4千円

## 主な質疑応答

補正予算項目(予算額)	質疑	回答
義務教育振興費(20万円)	「体力アップモデル事業」の概要とスケジュールについて。	子どもたちの体力の課題に合った教材により、動きの習得、技能・体力の向上につなげることが目的。9、10、11月に大学教授に城東小学校へ来ていただき指導を受ける予定。
公共交通対策事業(1,006万6千円)	東部地域で運営中のデマンドバス「のり～な」の実績と西部地域での実施計画について。	利用登録者は5月末で500人を超え、一日平均利用者数は3台で13人。LINE予約も増えてきた。西部地域の運行に向け関係者と協議を進めている。
救急安全センター事業協議会負担金(141万1千円)	#7119に電話をかけると適切な医療機関への案内を受けられるが、どのような流れと連携になるのか。	入電があると、医療機関の案内か救急対応かに振り分けられる。救急搬送ほどではない場合は適切な医療機関が案内される。救急搬送が必要と判断された場合は消防本部に転送される。
交通安全対策費(14万8千円)	交通安全協会への入会の周知活動について、どの程度の数値目標を掲げているのか。	令和元年度の加入率約60%に向けて啓発に取り組みたいが、少なくとも現在の加入率より下がらないよう啓発を進めたいとの話を聞いている。
まちづくり活動推進費(委託料)(995万円)	東部六地区に係る委託料について、どこから要望が上がり市はどのように対応していくのか。	国の事業で、「ふるさとミライカレッジ」というモデル事業の募集があり、応募した。これによりさらに東部六地区の連携を深めたい。
農地総務費(12万5千円)	土地改良区あり方検討委員会の設置費用について、検討委員会ではどのようなことを検討するのか。	土地改良施設や用排水施設の維持管理、将来的な更新などに加え、令和6年度に行った土地改良区へのアンケート結果も含めて地域の農業水利施設等の適切な保全について検討する。
農業振興費(33万円)	畜産振興事業補助金の名称が「但馬牛繁殖経営安定対策事業」から「DX推進による但馬牛・神戸ビーフ増産事業」に変わった意図は何か。	兵庫県は新たに繁殖雌牛を増やす場合に対する補助の見直しをした。また、今年度は要件化されていないが、DXを活用することで、将来的に現場の負担を減らしていきたいという意図があると聞いている。

## 6月26日補正予算(即決)の概要

議案	議題	目的	補正額
50号	令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第3号)	参議院選挙における投票管理者等における報酬額の追加	47万3千円

## クイズ(114号)の回答

正解は

- 問1 議会改革調査特別委員会の委員数は ①6人  
 問2 道の駅整備が行われる地域は ③今田  
 問3 フランス国旗の色は ①青白赤



正解者の中から当選15名の抽選を厳正に行いました。当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

クイズの応募に際し、お寄せいただいたご意見ご感想等は、貴重なご提言として、より良い市議会だよりの発行に繋げてまいります。ありがとうございました。

応募いただいた際の個人情報については、目的以外に一切使用しません。

## 市議会だより114号訂正について

令和7年4月21日発行の市議会だより114号におきまして、内容に一部誤りがありましたので訂正します。  
 なお、ホームページにおいても同様に訂正しました。

### ■12ページ下段2段落

誤：現在、SSWは市内に合計9名を配置  
 正：現在、SCは市内に合計9名を配置

### 参考

**SSW (スクールソーシャルワーカー)**とは  
 子どもが抱えている課題を関係機関と連携・調整しながら、課題解決を支援する福祉の専門家。

**SC (スクールカウンセラー)**とは  
 児童生徒や保護者、教職員の悩みや相談に対応し、精神的負担の解消を支援する心理職の専門家。



1. 持続可能な農業へ  
2. さらなる「丹波篠山まるいのTV」の発信へ



金崎 美和

**問1 山の芋に対する興味関心を高め、環境学習にもなる、山の芋グリーンカーテンの復活を。**

市民の皆さんや学校園でも取り組んでいただけるようPRしていく。

**子どもたちに山の芋掘り体験を通じた学びを。**

山の芋掘り体験は、非常に繊細な作業を要するため、体験学習としての実施は難しいと考えるが、農業や地域の特産物に親しみをもち、体験を通じた学びの機会を創り出すよう工夫していく。

**「山の芋生産後継者育成事業補助金」は利用件数が少ない。現状をどのように分析しているか。**

指導農家と教えて欲しい新規農家のマッチングが十分にできていない。今後、山の芋スクールの周知も図りながら補助金の利用を促したい。

**5a以上作付けした方を対象とした「山の芋振興奨励金」の交付対象の要件を広げ、補助額を増やすことはできないのか。**



提案を踏まえ、更なる単価アップと希望要件について、JAとも相談しながら検討を進めたい。

**農業者の担い手不足対策の一つとして、農業マッチングアプリを導入してはどうか。**

企業的な農家が期間を限定し、短期間の労働力を確保する手段として有効であると考えている。

**問2 小中学生に「丹波篠山まるいのTV」番組制作の経験を。**

自ら企画して脚本を書き、撮影や編集を行う過程の中で想像力や表現力、多角的な思考力が身に付き、テーマの設定によっては、自分の地域の魅力の発見に繋がる教育的な効果があると考えている。導入に際しての課題も踏まえ、学校現場の意向も確認しながら理解と連携を深めていきたい。

**視聴覚ライブラリー充実のため、設備の更新を。**

多様なニーズに応じた活動をサポートできるよう、計画的な機材の更新・充実は重要な課題として捉え検討を進める。



1. 選挙投票所、閉鎖時間の検討を  
2. 地域ポイント「でかんしょポイント事業」の推進について  
3. コウノトリの巣塔設置を



隅田 雅春

**問1 令和3年に行われた投票所の統廃合に関する一般質問において「慎重に鋭意検討したい」との答弁であったが、現在の検討状況は。**

投票区の統廃合は、投票率の向上が課題となっている現状において、投票の機会を奪うことにもなりかねない。また、兵庫県内の状況に大きく変化がないことから現時点での実施は困難である。

**期日前投票の利用者の増加や投票立会人の負担軽減、選挙事務の効率化のため、投票時間の繰り上げを。**

投票の機会を奪うことになりかねず、慎重であるべきとの姿勢は変わらないが、実現可能性や実施する場合の課題の整理、地域のコンセンサスを含め、時間をかけて慎重に検討したい。

**問2 でかんしょポイントの推進のため、①商工会との連携、②ポイント事業の検討、③チャージできる仕組みづくりを。**

①商工会員への情報提供等、今後も連携を進める。また、加盟店舗数が伸び悩んでいることから、商工会など

とポイント事業に関する協議会のような仕組みを構築し、加盟店舗数が増加する施策の検討等を進める。

②ポイント付与事業の選定やポイント付与数については、本年度の実施状況、実績、他市の状況も踏まえ見直し、より意義のある制度となるよう取り組む。

③現在、市で採用している「でかんしょポイント」には、チャージする機能はない。より多くの人にポイント利用してもらえるよう登録店舗やポイント付与機会の充実を図る。

**問3 丹波篠山のイメージアップ、子どもたちへの環境教育の一環として、コウノトリの人口巣塔の設置を。**

コウノトリが長期滞在するには、好適な餌場が必要であるため、現時点では、巣塔設置よりもたぐさんの生きものがいる自然環境を実現することが優先事項である。



農地利用の最適化・小作料について



大内 正博

**問 農地利用の最適化の視点から、耕作放棄地の解消・利活用にどう取り組んでいるか。**

4名の農地相談員によって、農地利用の最適化や耕作放棄地の発生防止に向け、集落の農業者や大規模農家の理解と協力を得ながら、早期のマッチングに取り組んでいる。

**「地域計画」による担い手への農地の集積・集約の連携状況と、今後の「地域計画」の取り組みは。**

校区や集落の話し合いによって担い手の確保を進めるとともに、集落や大規模農家との連携強化、新たな人材の発掘など、校区や集落が抱える課題に応じて話し合いを進めていく。

**地域ごとの小作料の傾向や水準について、どのように把握しているのか。また、農地法第52条に基づく小作料の情報提供はどのような手段で提供されているのか。**

農用地利用配分計画等の資料から内容把握し、市内19地区に区分し、その地域ごとの一覧表を作成しており、土地所有者などからの求めに応じて提供している。

**小作料の今後の相談体制や情報提供のあり方についてどのように考えているのか。**

令和5年からの地域計画の作成にあたり、農地利用の相談体制の整備を進めてきた。単独の集落では、担い手がないところもあるため、校区単位に広域化し課題解決を図ろうとしている。今後も校区ごとの協議の場を持ち、市・JA・県なども参画し相談や情報提供を行っていく。

**積極的な情報提供や相談体制の充実など、更なる取り組みの強化を行う必要があるのではないか。**

農業を中心的に担っていただく大型農家と地権者で小作料について上手く理解し合えないようになることを大変懸念している。今後、様々な立場の方を含めた検討会を立ち上げ、貸借の在り方等について、市民に示せるように努めていきたい。



1. 市公共施設等総合管理計画の課題と公共施設の統廃合  
2. 教育長は謝罪だけではなく自らに懲戒処分を課すべき  
3. 身体障がい者用駐車場マークの改善を



安井 博幸

**問1 1人当りの公共施設床面積は増加傾向にあるので、機能を維持しながら計画的に集約化・統廃合を進める必要があるのではないか。**

施設を廃止する際には、地域のニーズを聞き有効活用も検討しつつ、集約化・統廃合を進めている。

**将来推計人口は長期計画において最も重要な要素なので、市公共施設等総合管理計画を人口減少の現実を反映したものに訂正すべきではないか。**

計画の評価・見直しは、全庁的な取り組みとして、各計画との整合を計りながら行う。人口減少についてもその中で検討していく。

**速やかに幼稚園・保育園の集約と、こども園化を教育委員会は議論すべきではないか。**

平成24年度策定の市幼保一体化推進計画に基づき、将来市内全ての公立保育園・幼稚園を認定こども園にする方向は持っている。

**問2 丹後教育長は、「市教育基本計画」の第4期計画未策定という失態を謝罪で済ますのではなく、自らに懲戒**

**処分を課すべきではないか。**

教育行政の責任者及び職員の指導監督する者として、重く責任を感じている。この計画を着実に進めていくことが自分の役割であり、責任の取り方と考えている。

**問3 市公共施設を、この図の優先駐車場のマークへの変更が、やさしいまちづくりに寄与するのではないか。**

この図の優先駐車場のカラー舗装は財政的な問題もあり、実施は難しい。



優先駐車マーク



国の地方創生と丹波篠山市のワクワク農村



**問 石破政権の「地方創生2.0」の施策「地方創生伴走支援制度」を活用する予定はあるのか。**

現在は活用していないが、政策の方向はこれまで本市が目指し取り組んできた内容と同じなので、これからも本市の魅力を磨き上げ、選ばれるまちであり続けるよう取り組みを進めたい。制度については、情報収集しながら必要に応じ検討したい。

**「ワクワク農村創生補助金」は「ワクワク農村未来プラン」の推進に有効な補助金だが、すべての自治会で活用できるものか。**

6月時点で99の自治会が活用しており、今後活用意向の自治会も50ほどある。ふるさと一番会議の出席者にもPRしているところだが、多くの集落で取り組んでいただき、市全体で活性化を図ってほしい。誤解のないようにしていただきたいのは、何かイベントをしてくださいとか、計画やプランを作ってくださいと言っているわけではなく、移住者など多くの方に声を掛け合って、何かしらの行動を起こして行きましょうというもの。

担当の地域サポート職員を配置するほか、地域振興課の体制強化も図ったので、しっかり支援していきたい。

**市内19地区のまちづくり協議会において、まちづくり計画の見直し、更新をするため、職員が伴走して地域を支援し、そこから各集落の「未来プラン」策定につなげられないものか。**

まちづくり計画には地区の現状と課題やまちづくりの目標を設定し、具体的な取り組み内容を明記している。令和3年度以降は見直しが行われていないので、地域の現状や課題を踏まえた見直しを図られるよう支援していく。



ワクワク農村創生補助金事業 (川原自治会)



1. 丹波篠山市を更に「健幸」なまちにするために  
2. 高齢者が重症化するRSウイルス感染症の周知と対策を



**問1 少子高齢化が急速に進む中で「健幸都市宣言」及び「スマートウェルネスシティ首長研究会」に加入する自治体が増加している。本市でも宣言、加入をすることで他の自治体と共に見識を深めてはどうか。また、今以上に複数部署、企業等と連携することで、更に「健幸」なまちづくりにつながるのではないか。**

「健康たんばささま21計画」に基づき、各部署や関係団体との連携によって市民への啓発を推進しているため、引き続き計画に則り健康づくりに努めていく。

**でかんしょポイントの対象に認知症検査や運動、健康づくりに関するイベントへの参加などを加えることはできないか。**

現在、健康づくりに関する事業として、「センター健診の受診」と「スポーツセンター開催事業への参加」に対してポイント付与を行っている。本年度ポイント付与の対象となっていないが、健康づくり講演会や料理教室、いきいき塾など健康に関する事業を数多く実施している。現在のポイント付与事業の実施状況も踏まえながら検

討していく。

**問2 インフルエンザと同様に感染率の高いRSウイルスは、高齢者や肺疾患のある人は重症化するとされている。重点感染症となったことを受け、市民への周知とワクチンの助成を。**

今後、医療機関と連携し、市民に正しい知識や感染予防について周知啓発を行っていく。ワクチン助成については、国の動向も踏まえ検討していく。



本市の環境施策について～“燃やす・燃やさない”の視点から～



**問 大きな山火事の発生を防ぐために。**

本年2月～3月、岩手、愛媛、岡山などで大きな山火事が発生した。本市の山火事は、令和になってから年間3～7件発生しているが、最近では雪も少なく、地表部が乾燥していると大きな火災になる危険がある。ほとんどの山火事の原因は、野焼きなど「たき火」である。また、野焼きは、住環境保全の面からも対策が必要である。

本年発生した12件の火災の内9件は野焼きが原因であり、また煙や臭いにより市民に深刻な健康被害を及ぼしている。野焼きの原則禁止は、ふるさと一番会議や自治会長会、市の広報紙などで呼び掛けている。燃やさない枯草や農作物残渣の処理については、畑にすき込んだり、煙の出ない炭化などがあるが、それぞれ工夫いただいていると思う。黒豆など農作物残渣の炭化については、現在、「無煙炭化機」の実証実験をしている。

**清掃センター 2027年度からの運営。**

**丹波市との清掃センターの共同運営は、令和9年3月で終了予定だが、丹波市からの分担金がなくなることで**

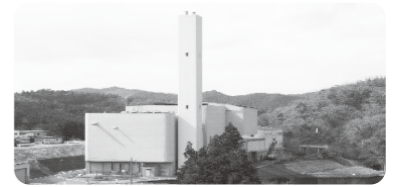
山南町のごみ処理がなくなることによる業務の見直しは。

ごみの搬入量が減少することから、消耗品、光熱費、委託料などについて、十分に精査し経費削減に努める。また、処理量や業務量の減少に伴い、業務内容や人員配置についても精査し、見直しを検討する。

**プラスチック資源一括回収の方針に伴い、本年1月からプラスチックごみの収集方法が変更されたが、分別収集は順調に進んでいるか。**

**また、市民への啓発をさらに進めるため、第2、第3の「ごみ博士」の出現が待たれる。**

分別の変更には当たっては、啓発チラシの配布、広報紙や市のHP掲載、住民学習会などで説明を行い、分別収集量は増加している。また、第2の「ごみ博士」の養成も順調に進んでいる。



1. 市民と防災拠点から築く「災害に強い丹波篠山」を  
2. こどもたちの放課後の居場所を豊かに



**問1 防災意識強化のため、毎月特定の日を「防災の日」と定めてはどうか。また、給食のメニューに「防災食」を取り入れてはどうか。**

給食メニューに防災食を取り入れるかどうか検討する。災害に備え、今後も市民の防災意識が高まるような地域づくりを進めていきたい。

**地域防災力の底上げとして、防災士資格取得支援の拡充を。**

県事業「ひょうご防災リーダー講座」は、無料で受講が可能のため、開催日の追加や受講人数増等の要望をしていく。

**消防本部建替えと防災拠点センター整備進捗状況は。** 具体的な日程や計画の立案はないが、消防本部の現状とあり方について、関係部署との話し合いの場を今後も持ち、調査・検討を継続していく。

**問2 児童クラブの申込時期を早めることで、利用希望者数を早期に把握でき、早期に支援員・教室の確保等の準備を進められるのではないか。**

申込時期の変更をすると、申込み忘れなどが懸念されるため、現状のまま進めていく。

**今後の利用者数の変動を見据え、スペースの確保や環境改善の取り組みを。**

この数年が利用者数のピークであると考えているため、新たに施設の増築等は考えていない。国の定める基準を遵守し、今後も安心・安全な施設運営を行っていく。また、小学校の体育館や運動場を借りるなど、学校と連携した施設運営に努めていく。

**市内で安心して子どもが遊べる公園が少ない。園庭の開放日を増やしてはどうか。**

防犯上やこどもの安全管理の観点、職員の人員配置の現状から難しい。

**公共施設を無料開放し、子どもが気軽に集い、自由のびのびと遊べる環境を整備してはどうか。**

無料開放のニーズ、施設の予約状況、活動されている団体への意見聴取などを踏まえ、実施の可否について検討していきたい。



1. 誰もが気軽に訪れ、安心して過ごせるユニバーサルデザインのまち・丹波篠山を目指して
2. 部活動における体験格差の課題について、教育の公共性を問う



**問1** バリアフリーとユニバーサルデザインの推進のため、篠山城跡大書院の通路整備や電動車いすの導入、案内板やHPのユニバーサル対応、さらに文化財を活用した体験学習など、誰もが安心して訪れ・学べる環境づくりが求められているが、現状の課題認識と今後の取り組み方針は。



提案のあった電動車椅子、移動型モビリティの導入を検討する。案内表示板はユニバーサルデザインに配慮したピクトグラムなどの標識設置、視覚障害者向けの音声ガイダンス導入を検討する。その他HP等も観光客を含めた全ての人の視点に立つことは重要であり、引き続きそうした視点を持って対応していきたい。

**問2** 部活動の地域移行に伴う教育的意義と支援体制について。部活動は、子どもたちにとって仲間づくりや

自己肯定感を育む大切な教育活動である。今後の地域移行にあたり、経済的・地域的な格差への対応、平日・休日の指導一貫性の確保、安全管理や指導者待遇の整備、クラブ情報の公表や保護者への丁寧な説明が必要である。また、受益者負担を前提とした「サービス化」によって、教育の公共性が失われる懸念もある。子どもたちの未来につながる改革とすることが必要だが、教育的視点・社会的公平性の両面から、今後どのように取り組むのか。

少子化が進む中でも、すべての子どもたちがスポーツや文化活動に参加できる環境を守るため、先進的な事例を参考にしながら、地域と連携した新しい部活動のあり方を検討している。令和8年からの地域移行に向けては、体制や予算の準備、種目の設定、指導者の確保、送迎支援など多くの課題がある。簡単に実現できるものではないが、子どもたちの豊かな体験を守るためにも、今後も市長部局と連携しながら、現実的かつ持続可能な仕組みづくりを進めていく。



1. DX 推進条例の制定を
2. 行政内部のペーパーレス化について
3. 猟犬による飼い犬殺傷事件について



**問1** 国が「地方創生2.0」へと舵を切り、今後、DX分野へのリソースを集中投入されることが予想される。この波に乗るために、市としてDX推進条例を制定してはどうか。

本市では令和5年7月に策定した丹波篠山市DX推進計画に基づき、DXに取り組んでいる。デジタル人材の不足が課題であるが、各部署にDX推進リーダーを配置し、DXに対する職員の意識を醸成し、全庁的なDXにつなげていく。条例の制定については今後の検討課題とする。

**問2** 日常的な庁内業務ではいまだに紙ベースの回覧や決裁、印刷物の大量出力が常態化している。行政内部のペーパーレス化についての考えを問う。

本市では「ごみゼロeco市役所」をスローガンとし、ごみの減量に取り組んでいる。A4コピー用紙の使用量は令和6年度が882万枚で、年間800万枚に抑えることを掲げ、ペーパーレス化に取り組んでいる。幹部職員に貸与しているタブレット端末は導入から長期間が経過し

ており機能を十分に活用できていないことから、更新を検討していきたいと考えている。

**A4用紙1枚の価格(紙代・印刷費)はいくらか。**  
紙代が1円程度、施設にもよるが印刷費は平均で1円程度かかるため、1枚印刷するのに2円程度である。

**問3** 4月29日、有害鳥獣捕獲作業に従事していた鳥獣被害対策実施隊の猟犬が、民家の庭につながっていた飼い犬を襲い殺傷した事件について、市としての指導責任や再発防止策について、どう考えているか。

別の地区で捕獲依頼が出ていたが、直前に当該地区での捕獲活動を決定したことで事前周知が徹底できておらず、屋外で飼育されている飼い犬の情報が実施隊内で共有されていなかった。再発防止対策として、6月から研修、危機管理の専門家による危険予知の再認識、事前周知の徹底、ペット等の安全確保の確認、噛みつき防止のための猟犬への器具装着、隊員の連携強化、人家付近での銃猟活動の禁止等の改善策を実施する。



1. 日本農業遺産保全計画(第1期)の進捗状況について
2. ふるさとの川再生事業について



**問1** 丹波篠山市の黒大豆栽培は令和3年2月、「丹波篠山の黒大豆〜ムラが支える優良種子と家族農業〜」として日本農業遺産に認定された。令和7年度で最終年度となる日本農業遺産保全計画(第1期)の進捗状況ならびに今後の取り組みを中心に聞く。

①第1期保全計画に掲げる取組一覧の達成状況は。②日本農業遺産の認定更新に向けて今後のスケジュールは。③さらに認知度を高めるため、公共施設などで展示をしてはどうか。④世界農業遺産の申請、認定に向けた調査はどのような状況か。

①第1期保全計画に31項目の成果指標があり、27項目で達成または達成に近い水準にあり、着実に計画を推進できている。②令和7年7月29日にモニタリングがあり、その結果と専門家会議の助言を踏まえ、新たな5年間の計画を作成し、令和8年3月までに第2期保全計画を取りまとめ、国に提出する。③現在も歴史的文献の調査を進めており、今後は新しい情報を織り交ぜた展示を検討し、より多くの方にご覧いただけるよう取り組む。

④黒大豆の収量が安定し、市民の皆さんの間で機運が高まってきた段階で世界農業遺産への挑戦を検討する。

**問2** 丹波篠山市のふるさとの川再生事業の趣旨は「身近な川を生きものと子どもたちの笑顔あふれる豊かな川に再生させる取り組み」と記されている。「丹波篠山のふるさとの川マップ・ふるさとの川カード」を作成し、新たな魅力のひとつに加えてはどうか。

丹波篠山市のふるさとの川再生事業の理念や目的を周知するとともに、地域の魅力や生態系を知っていただくことができ、さらに市外の方へは観光資源としても活用できることから、ふるさとの川マップ、ふるさとの川カードの作成に向けて検討していく。



1. 訪問介護事業所へ支援を
2. 公共施設女子トイレの改善を



**問1** 訪問介護報酬の引き下げから1年。訪問介護事業所が深刻な経営難に陥り、倒産が増えている。

丹波篠山市では引き下げの影響はどのように出ているか。事業者や介護職員への支援が必要ではないか。

市内の訪問介護事業所8カ所を対象に、報酬改定後の運営状況等について無記名アンケートを実施した。回答のあった5事業所のうち、「報酬改定前に比べ収入が減少した」が3事業所、「増加した」が1事業所、「変わらない」が1事業所だった。今回の報酬改定により、訪問介護事業を廃止する事業所はなかったが、一部の事業所に影響があったと考えられる。

事業所や介護職員へは、新型コロナウイルス感染症対応の臨時交付金を活用し支援してきた。また、「介護福祉士国家試験受験対策講座」を開催し、介護福祉士資格の取得や人材確保につながる支援を行っている。

**問2** 家庭や商業施設はほとんどが洋式トイレである。子どもにも大人にも和式トイレは使いづらいものになっている。

丹波篠山市の公共施設の場合、洋式トイレが少なく、和式トイレが空いていても洋式トイレに集中し、女子トイレには行列ができる。

トイレ使用の状況を把握し、計画的に改修、改善していくべきだ。

公共施設を整備、改修する際には洋式トイレの設置を進めている。新しく建築する施設には、洋式トイレを設置することとし、既存施設については、施設に1カ所以上は洋式トイレを設置するよう取り組んでいる。

洋式トイレは和式トイレに比べ使用する面積が大きくなるが、トイレの使用状況等も加味しつつ、可能な限り便器の数を減らさないよう、施設の改修に合わせ順次トイレの洋式化を進めたい。



## 議会報告会(前期)の報告

市民に開かれた身近で信頼される議会、市民の負託に応えられる議会の実現のため、さまざまな取り組みを行っていますが、そのうちの一つに「議会報告会」があります。

直近の市議会の諸活動を報告し、地域の皆さんの声を聴くとともに、将来に向けてのご意見をいただく重要な機会と位置づけ、5月に市内3会場(篠山・西紀・今田)で開催しました。

今年度は、各班で掲げるテーマに基づき、ワークショップによる意見交換会を実施しました。参加者からは色々な意見や課題を語っていただき、その実現に向けて様々な対策や解決のアイデアを出していただきました。下段には、各会場で出された意見の一部を集約し掲載しております。また、議会ホームページに報告会要旨等を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

### 「地域の未来を担う人 育て守るためには…」

今田会場(5月13日開催)

#### 【課題】

- ・若者、女性、子育て世代が少ない
- ・実感できる子育て支援の不足
- ・郷土愛を育て、郷土に誇りを持つような施策の不足

#### 【参加者が考える対策や解決策】

- ・移住の推進や地域内の交流促進
- ・開放的な自治会運営
- ・子育て支援の充実
- ・学校や地域で郷土愛を育む



### 「自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来 ～持続可能な活動に向けて～」

篠山会場(5月21日開催)



#### 【課題】

- ・まちづくり協議会の組織や行事の周知が十分でない
- ・自治会役員の担い手不足と運営方法について

#### 【参加者が考える対策や解決策】

- ・活発なSNSの活用による女性や若者への参加の呼びかけ
- ・役員任期のルール化、業務の効率化で住民全体の主体的な関わりを促す
- ・課題共有により住民理解を深め、継続的に改善を図る

### 「丹波篠山の農業の未来像 ～5年後の農業はどうなる?(今取り組むべき課題は)～」

西紀会場(5月22日開催)

#### 【課題】

- ・草刈り
- ・農家の後継者不足
- ・農家の減少等により特産作物である黒大豆の生産量が減少

#### 【参加者が考える対策や解決策】

- ・市の集落農業守り隊応援事業の条件緩和
- ・農業をしたい若者や移住者への支援強化
- ・関係人口のつながりを活かした人材確保
- ・農地の集約化や圃場整備等による作業の効率化



## 政務活動費の公開

議員が市政に関する調査研究をするために必要な経費の一部として交付される政務活動費(令和6年度分)について公開します。本市では、会派及び会派無所属議員に対して、月額20,000円×当該会派の所属議員数が半期ごとに交付されます。

### 令和6年度政務活動費収支報告一覧

単位:円

会派名	青 藍 会	公 明 党	福祉と教育	日本維新の 会丹波篠山	無所属	無所属	無所属	無所属
所属議員	小島 政行 原田 豊彦 荒木 礼子 稲山 悟 大内 正博 本多 紀元	隅田 雅春 岡 圭子	向井 千尋 桐村 裕一	金崎 美和 降矢 杏奈	野々村 康	堀毛 宏章	前田えり子	渡辺 拓道
交付金額	1,320,000	440,000	440,000	440,000	220,000	220,000	220,000	220,000
研究研修費	0	0	96,213	134,740	10,000	0	0	0
調査旅費	878,483	71,958	6,640	13,230	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	110,770
広報費	341,978	152,091	110,146	73,342	0	203,262	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	2,750	0	0	0	0
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出額	1,220,461	224,049	212,999	224,062	10,000	203,262	0	110,770
返還額	99,539	215,951	227,001	215,938	210,000	16,738	220,000	109,230

※交付金額は任期(令和6年5月1日～)からの11か月分となっており、任期前の4月分は再選者を含め交付なし。

※安井博幸議員、上田英樹議長は政務活動費の申請なし。

※政務活動費は年2回(6カ月分ずつ)に分けて会派及び会派無所属議員に対して交付され、年度末の精算で残額が生じた場合は、残額の全部を返還しています。

領収書等の関係資料については、市議会ホームページや議会事務局で閲覧できます。

### 政務活動費の使いみち

- 研究研修費: 研究会及び研修会開催・参加のために要する経費
- 調査旅費: 調査研究活動のための先進地調査又は現地調査に要する経費
- 資料作成費: 調査研究その他活動のために必要な資料作成に要する経費
- 資料購入費: 調査研究その他活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費: 調査研究活動、議会活動、市政について住民に報告し、PRするために要する経費
- 広聴費: 住民からの市政及び会派等の政策等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費
- 人件費: 調査研究その他活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費: 調査研究その他活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費
- その他の経費: 上記以外の経費で調査研究その他活動に必要な経費

広告

☆カーテン ☆クロス  
☆カーペット ☆クッションフロアー  
☆ローマンシェード ☆手すり取り付け  
☆ブラインド ☆システムキッチン  
☆ロールスクリーン ☆リフォーム工事

**センスアップ 改装を ご希望なら**

**アオキ装飾工芸**

丹波篠山市瀬利1093  
Tel 079-552-0506  
Fax 079-552-6335

日装連リフォーム推進協議会会員 住宅リフォームエキスパート(増設業相限員961024号) **アオキ装飾工芸** 検索

広告

総合防犯設備士資格 保有  
防犯設備の施工・点検承ります

「まごころと技術で奉仕する」

**オカダ電工**

あなたの家の防犯対策 万全ですか?

☎079-552-5243(代)  
〒669-2307 丹波篠山市般若寺189 FAX.079-552-5543